

《第22回鎌ケ谷市社会福祉大会について》

「第22回鎌ケ谷市社会福祉大会」を令和3年2月10日（水）に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が抑制されていない状況を踏まえ、参加者の健康面、安全面を考慮し、式典等を中止とさせていただきました。本来であれば、ご来賓の方々をはじめ、福祉関係者のご臨席のもと、表彰を受けられます皆様には、誠に残念でなりません。そして、一刻も早く、事態の収束を願うばかりです。

重ねてになりますが、長年にわたり地域の中で活動され、本会の発展に御尽力いただいたご功績により、表彰を受けられた皆様には、深く敬意と感謝の意を表しますとともに、感染リスクを抱えながら、地域や施設等において、必要とされている支援や業務に従事していただいている福祉関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



会長 徳田訓康



令和3年3月25日 第111号

発行……社会福祉法人
鎌ケ谷市社会福祉協議会
〒273-0195
鎌ケ谷市新鎌ケ谷2-6-1
総合福祉保健センター5階
TEL.047-444-2231
FAX.047-446-4545

表彰を受けられた方々

（敬称略・順不同）

功勞表彰〈団体〉

鎌ケ谷災害救援ボランティアネットワーク

功勞表彰〈個人〉

戸田米子、仙石誠、土屋雅子、加藤絢子、嶋田良子、小宮あけみ、宮腰正範、大沼やす子、石井政枝、田島栄美、目等宣子、増田政子、秋元恒子、加藤文彦、兼松里子、加川正子、吉岡富子、堤靖子、岡部園子、小西洋子、吉田道代、石橋敏子、渡邊暎子、茅野弘、三澤征夫、山田紀久子、片岡宗則、金森俊三、小田切宜夫、佐藤敏子、吉野繁子、藤井和子、大河原澄江、宗像洋子、土棚良治、土棚勝子、阿南ミドリ、櫻井梨絵、白戸幸司、中澤和憲、岡本豊洲、齊藤幸子、福井洋子、貴志光位、尾辻亨、猿谷宣男、霜崎美鈴、大網敏子、吉田美紗枝、山田真彰

感謝状〈寄付関係〉

故 今村隆一、故 岩井信子、故 井手敬典、故 井手ミサ子、大谷和子、石神市太郎、垂水貞幸、菊地武夫、鎌ケ谷市ダンススポーツ協会、国際ソロプチミスト船橋、株式会社ヤマシナ商事、千葉建設労働組合鎌ケ谷支部、南初富連合自治会

感謝状〈会費関係〉

株式会社齊藤造園土木、有限会社澁谷建設、鎌ケ谷自動車学校

福祉作業所友和園 紹介

仕事大好き

仲間大好き

コロナ禍でも
頑張ってます

友和園は、知的または身体的に障がいをもった人たちが通所する作業所で、就労継続支援B型事業所と生活介護事業所の機能を併せ持っています。

●就労継続支援B型事業所について

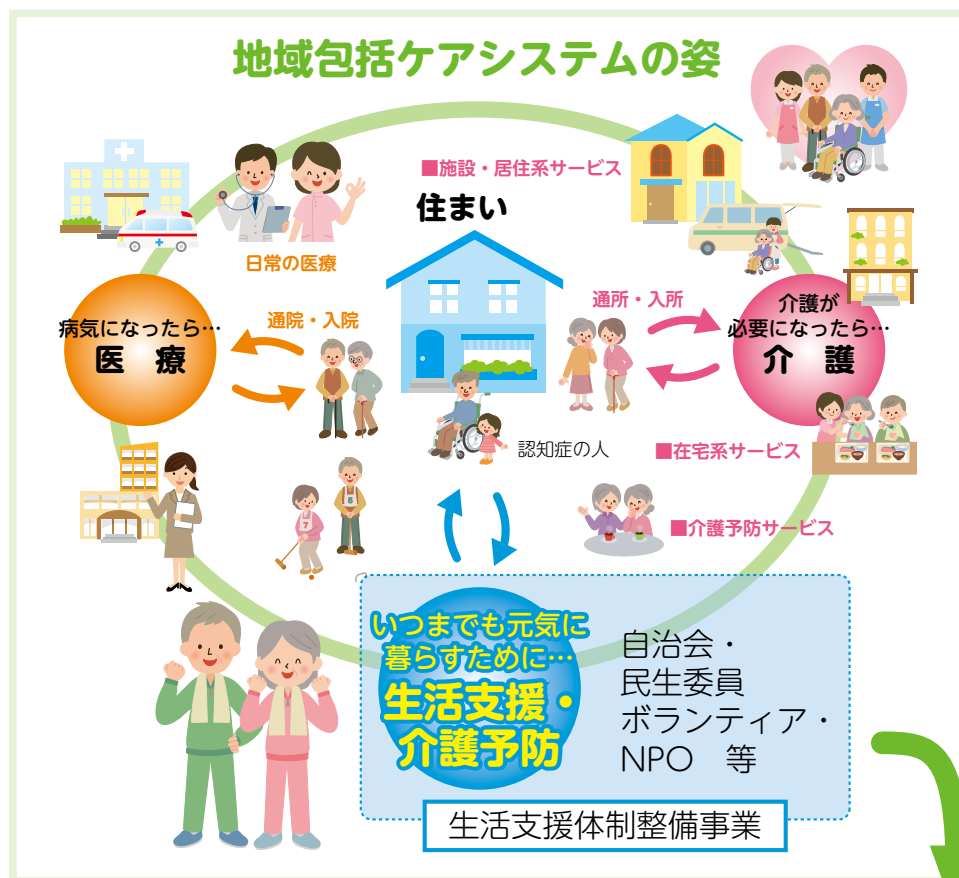
現在17名の利用者が通所し、毎日いろいろな仕事に励んでいます。公園の清掃、花壇の手入れ、地域新聞の配達、封入・コンタクトケースの袋詰め等の内職作業、アルミ缶・ペットボトルキャップ回収のリサイクル事業、紙すき・手芸製品作り等の自主生産、さらに農業と福祉をつなぐ「農福連携」により市内農家さんの協力のもと収穫したカブの袋詰め作業を協力農家の作業場に出向いて頑張っています。生活面でも様々な体験や活動をおして社会的・精神的に自立することを目指しています。

●生活介護事業所について

現在11名の利用者が2つのグループに分かれて活動しています。A班は身体的にも重度障がい者が在籍し体力維持・増進に力を入れ、B班は作業を取り入れながら社会生活に必要なことを学ぶことに力を入れています。どちらも「生き生きと生活する」をモットーに、ルールを学び、興味・関心を引き出し、レクリエーション活動をおして「これをやってみよう」「これはできるかな」と一緒に考えながら生活を楽しんでいます。



『地域包括ケアシステム』と『生活支援体制整備事業（第2層協議体）』



「地域包括ケアシステム」と「生活支援体制整備事業」の違いと、市から受託している「第2層協議体」について、鎌ケ谷市内の取り組みをご紹介します。

「地域包括ケアシステム」とは…

「地域包括ケアシステム」とは、いつまでも地域で自分らしく生活していくために、住まいを中心として、医療、介護、生活支援・介護予防を含む、鎌ケ谷市の取り組みです。

「協議体」の構成例（イメージ図）

鎌ケ谷市における生活支援体制整備事業

住み慣れた地域で自分らしく生活していくためには、行政サービスだけではなく、困ったときに気軽に相談し助け合えるような地域基盤が大切になってきます。

このような、住民による支え合い活動について、より身近な地域で話し合いを行うため生活支援コーディネーターを配置して、「第2層協議体」の設置を進めています。

鎌ケ谷市では、平成30年度から事業がスタートし、北部圏域、東部圏域、南部圏域、西部圏域で話し合いと実践が進められています。

今後市内6圏域すべてに生活支援コーディネーターを配置し、第2層協議体の設置を目指しています。

第2層協議体、コーディネーターの配置・構成例



協議体の取り組みはそれぞれ

全国で「協議体」の取り組みが行われていますが、取り組み方や取り組む方法は、地域の実情に合わせてそれぞれです。鎌ケ谷市内であっても、全く同じ取り組みはありません。地域の特性を大切にした、その地域オリジナルの取り組みをしています。

鎌ケ谷市の第2層協議体では、地域の実情に応じて自由で活発な話し合いを展開しています。今年度はコロナ禍で会議の開催が困難でしたが、感染予防に努めながら、可能な範囲で話し合い、実践してきました。ほんの一部ですが、ご紹介いたします。
※それぞれの地域内での取り組みになります。

社協会費の報告

みなさまの会費が「地域の福祉」を支えています

鎌ケ谷市社協では、市内に住む方々が会員となり、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりのために、行政・団体・施設等と協力しながら、地域福祉を推進しています。事業を進めるための主な財源は、補助金、会費、共同募金ですが、会費は重要な自主財源であり、社協事業の運営を支えています。

令和2年度：一般会費（自治会）	8,126,055円
会費加入状況 法人会費	550,000円
施設団体会費	294,500円
総合計	8,970,555円

※一般会費の25%は各自治会の福祉事業費として活用されています。



共同募金運動報告（千葉県共同募金会鎌ケ谷支会）

～ご協力ありがとうございました！～



募金総額 8,671,580 円

（令和3年3月5日現在）

◆赤い羽根募金 5,431,825円

◆歳末たすけあい募金 3,239,755円

赤い羽根募金



皆さまからお預かりした募金は、全額千葉県共同募金会へ送金いたしました。次年度に募金額の約70%は鎌ケ谷市のため、約30%は県内の民間福祉施設、福祉団体、地震や台風などの災害時の支援として配分されます。



募金方法別内訳

戸別募金（自治会）	4,620,269円
学校募金	266,418円
法人募金	375,000円
その他	170,138円

歳末たすけあい募金



年末年始の時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるよう、民生委員の協力を得て、在宅で支援が必要な世帯への見舞金や施設等で行われる様々な福祉活動に配分させていただきました。



助成結果報告（配分総額 2,355,770円）

生活困窮者見舞金	1,021,000円
緊急的生活支援	241,570円
福祉ニーズへの支援	260,000円
災害関連	30,000円
社会福祉施設助成	500,000円
福祉関係団体助成	170,000円
地域・在宅福祉事業	133,200円

令和2年7月豪雨災害義援金を千葉県共同募金会に送金し、被災地の共同募金会にお届けいたしました。

義援金合計 78,255円

熊本県指定	33,000円
長野県指定	10,000円
山形県指定	10,000円
指定先無し	25,255円



最近の子育てについて

「ふれあいサービス」協力会員募集中!

～あなたのできることをできる範囲で活動できます～

ふれあいサービスとは、高齢者や障がいのある方、子育て世帯（産前産後）の方、家事にお困りの方が「利用会員」となり、地域の中から参加した「協力会員」が家事援助・介助などのサービスを有料で提供する会員制の相互扶助（たすけあい活動）の福祉サービスです。

- 登録の要件** ・健康で趣旨を理解してくださる市民の方
*経験、資格不要
・活動できる時間、内容で登録が可能
- 年会費** 1,000 円（登録時）
- 活動内容** 家事援助サービス
（買物・掃除・洗濯・食事づくりなど）
- 活動日** 月～土（日・祝日・年末年始を除く）
9 時～17 時
1 時間単位で3 時間まで
（コロナ禍では2 時間まで）
- 配分金** 1 時間 700 円（基本）

感染症予防に配慮した活動を心がけています。

活動前の検温、マスク・エプロン着用。
消毒液等の配布。

感染拡大防止のため自粛・中止となる場合があります。

協力会員の声

「あなたがいてくれて良かった」と
言われてうれしかったです。

協力会員向け研修会もあります。（全6回予定）

会場：総合福祉保健センター

6 月 30 日（水） 10 時～12 時	活動の概要説明、感染対策の講義 （講師：薬剤師）
7 月 30 日（金） 10 時～12 時	調理実習、食品衛生上の注意 （講師：栄養士）

* 感染症拡大により、中止・内容が変更になる場合があります。

問合せ先：社会福祉協議会（☎ 047-444-2231）



高齢者が喜ぶ食事作りについて



お正月の小物作り

在宅介護者のつどい

ご自宅で、要介護状態の家族を介護しているみなさん。毎日のことに戸惑ったり、ご苦労を感じたりしていませんか？介護の不安や喜びなど同じ経験を持つ仲間として気持ちをさらけ出し、分かち合うつどいの場に参加してみませんか？

参加者
募集中

*リフレッシュ

- ・仲間作り
- ・バスハイク（工場見学など）
- ・手工芸（お正月の小物作りなど）

*情報交換

- ・同じ境遇の仲間同士の語らい

*看護師による血圧測定・健康診断

- ・市高齢者支援課の協力により、健康相談や福祉情報の提供など



クリスマスツリー飾り

通常、月1回の開催ですが、感染拡大防止のため中止となる場合がありますので、関心のある方は、社会福祉協議会までお問合せください。事前登録していただきますと、こちらから開催通知文を郵送します。開催場所は、総合福祉保健センターです。

問合せ先：社会福祉協議会（☎ 047-444-2231）、市高齢者支援課（☎ 047-445-1141）

善意銀行

ありがとうございました

令和2年10月31日～令和3年3月5日
(敬称略・順不同)

寄付者	使途	金額・品名
故 井手 敬典	高齢者の配食活動のために	100,000 円
故 井手 ミサ子	西部地区社協のために	100,000 円
	福祉のために	300,000 円
菊地 武夫	障がい福祉のために	100,000 円
南初富連合自治会	高齢者の配食活動のために	80,000 円
石神 市太郎	福祉のために	200,000 円
ファイターズ OB 会	福祉のために	50,000 円
匿名	福祉のために	30,609 円
匿名	音声訳の活動のために	17,252 円
鎌ヶ谷市きらりホール 「きらり！明日の名人会」	福祉のために	53,000 円

鎌ヶ谷市善意銀行は、
みなさまから寄せられる
善意の気持ちと
それを必要としている人を
つないでいます。

心配ごと相談所って、ご存じですか？

心配ごと相談所では、どなたでも、お気軽にご利用できますので、ひとりで悩まないでご相談ください。
あなたの悩みについて、解決の糸口が見つかるかもしれません。

また、ご相談の内容によっては、関係機関等へご相談するようご助言させていただく場合があります。

【心配ごと相談】 予約不要

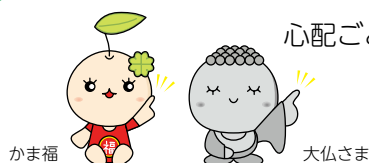
●日時：水曜日 10 時～14 時

- ・生活全般の悩みごと
- ・家族、夫婦、子育て、介護、老後のことなど

【心の相談】 要予約

●日時：月・金曜日 10 時～14 時

- ・親子関係
- ・ストレスを抱え、人間関係に悩んでいる
- ・友達と仲良く付き合いたいなど



心配ごと相談所の相談員が、ご相談に対応しています。(相談無料・電話相談のみ)

相談室専用電話：047-444-6921

予約のお問合せ：047-444-2231

福祉サービス案内

「必要な相談・情報・支援が得られるしくみ」を促進するために、地区社会福祉協議会では「福祉サービス案内」を行っています。福祉にかかわる情報を知りたい時や行政等の相談窓口がわからない時には、ご相談ください。専門機関、窓口などをご案内いたします。

連絡先

- 中央地区 TEL 442-5145
- 中央東地区 TEL 442-5144
- 東部地区 TEL 442-5141
- 西部地区 TEL 047-389-6061
- 南部地区 TEL 442-5143
- 北部地区 TEL 442-5142

時間はいずれも火～土曜日 9 時～16 時

〈地区社協事業について〉

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの事業を中止しております。地域住民との「つながり」を維持できるよう、新しい「つながり」を作り出す活動を見つけ出していけるよう努めてまいります。引き続き地域福祉の推進のためにご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

広告募集

鎌ヶ谷市社会福祉協議会では、「鎌ヶ谷協だより」に広告掲載企業を募集しています。全戸配布のメリットをいかして宣伝してみませんか？

- 年 3 回発行 (7 月・11 月・3 月)
- 掲載料 1 万円 (寸法 90mm×50mm)
- 全戸約 32,000 部配布
- 詳細はホームページにも掲載されています



お問合せ先 ▶ ☎ 444-2231 (社会福祉協議会事務局)

高齢者や障がいのある方の生活を支援します！

～日常生活自立支援事業～



日常生活自立支援事業は、日常生活を送る上で、福祉サービスを利用したり、毎日の生活に欠かせないお金の出し入れが困難な方が安心して生活できるように支援する福祉サービスです。

- ◆**利用できる方** ○高齢者や障がい者の方で、日常の金銭管理や財産の保全などに不安がある方
○利用に必要な契約の内容が理解できる方

◆サービス内容

◎福祉サービス利用援助

- ①福祉サービスについての情報提供を受けられます。
- ②福祉サービスを利用したり、やめるために必要なことを一緒に考えながら手続きをします。
- ③福祉サービスを利用して嫌なことがあったら、苦情解決制度を利用する手続きをお手伝いします。



◎財産管理サービス

- ①医療費、税金、公共料金等を支払うお手伝いをします。
- ②あなたの通帳から生活に必要なお金を払い出してお渡しします。また、預け入れすることもできます。



◎財産保全サービス

大切な財産を金融機関の貸金庫に保管します。(預貯金の通帳、保険証書、不動産権利書、契約書、実印など)



◆利用料金 (※生活保護世帯は無料)

- 年会費:3,600円(月額300円) ○利用料:1,000円(1時間30分未満)以降30分毎に500円加算
○財産保全料:年間3,000円(月額250円)



制服リユース5年目

先輩から後輩へ

あなたの制服が誰かの思い出に



平成28年11月から始まり、制服リユースも5年目になりました。令和3年1月末日現在 225名の方から制服が届き、402世帯の方が利用されました。



在庫は
ココから
見れます



子どもが卒業しました、制服使って下さい。

皆様の声

- このようなリユース制度があり、入学準備にとっても助かりました。
- あと数か月で中学校卒業の時に制服が壊れてしまい、とても助かりました。
- 大切にに使わせていただきます。ありがとうございます！
- 幸せな学校生活でありますように。心から祈っています。勉強に部活に励んで下さいね。
- これから始まる中学校生活楽しんで下さい。
- ぜひ使ってください！！楽しい中学校生活になりますように！

相談スペースの 案内

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、ボランティアセンターだった部屋に相談スペースをとり、窓口業務を行っています。コロナ禍の折、特例貸付事業や日常生活自立支援事業等の相談者が複数訪れるときがあり、三密(密閉、密集、密接)を避けながら業務を行っています。ご理解の程よろしくお願いいたします。

◇安心して鎌ヶ谷での生活が送れますように◇



事務所の掲示板には
情報がいっぱい

★★★ お知らせ ★★★

前ページでご案内しましたとおり、今春よりボランティアセンターが社会福祉協議会事務所内へ移動しました。

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動の休止や制限が続いていますが、今後もボランティア活動に関する情報の収集と発信に努めてまいりますので、ボランティア活動に興味や関心がある方は、ボランティアセンターへご相談ください。
直通電話 047-442-2940

ボランティア センター

通信

総合福祉保健センター5階
問い合わせ TEL(442)2940
FAX(446)4545

開所時間

月～金曜日：午前9時～午後4時

ボランティアまめ知識

マスク着用時のコミュニケーション
いつも以上に表情を豊かに、
ジェスチャーをつけてみましょう

第22回鎌ケ谷市社会福祉大会 ボランティア功労表彰紹介

日頃より地域住民の方々には公私ともに大変お世話になっております。我々合同会社或致斬（あるちざん）は、美容室の個人経営の期間を含め約17年になります。その間、国内外では多くの災害に見舞われました。弊社も東日本大震災にあたっては、社員にお店を任せ社長のワガママな想いだけで現地に赴き被災地で奔走させていただきました。その後、地元でも何かできることはないかと考え、社会福祉法人南台五光福祉協会“もくせい園”で毎月利用者さん方の髪のカットをさせていただくようになりました。これからも地元のみならず少しでも恩返しできるように続けたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



合同会社 或致斬
(個人ボランティアとして活動)

自然災害の被災地における ボランティア活動保険の 加入・更新手続きについて

保険料は、基本プラン350円、天災・地震補償プラン500円となります。令和3年度加入手続きは、3月末よりボランティアセンターにて受付けます。補償期間は4月1日～令和4年3月31日、中途加入の場合は、加入手続き完了後から令和4年3月31日となります。

報告

市民ボランティア体験学習

編物講習会

自分時間を活用してボランティア活動に参加できるよう、新型コロナウイルス感染防止に努め、編物講習会を開催しました。

参加者の感想

- ・手、耳、頭フル活動口も動いていました。全身リフレッシュできました！ありがとうございました。この時期の開催、大変かと思いますが…感謝です。
- ・久しぶりにコロナストレスが取れました。ありがとうございました。

スタッフの感想

- ・指導するのは初めてでしたので、スタッフが統一した編み方で教えることができず、参加者を戸惑わせたのが反省点です。でも、大変勉強になりました。



数人のスタッフが
グループに分かれ、
それぞれ指導しました



男性参加者は少し
簡単な小物に挑戦！

ひとくちメモ

アクリルたわしは、その名の通りアクリル100%です。アクリルたわしを処分するとき、汚れている場合は週3回の燃やすごみへ、それ以外は燃やさないごみへ（鎌ケ谷市の場合）ご協力をお願いします。

Zoom体験

ボランティアを対象に、コロナ禍の新しい生活様式の中、今後の活動をひろげる手段の一つとして、“オンライン会議”について学びました。



講師
MSG代表柳澤氏



MSGメンバーさん

Zoom体験 参加者の感想

- ・コロナ禍のなか、対面でボランティアがなかなかできにくい状況が続いております。このツールを使って、新しい展開ができないかと思い参加してみました。
- ・自分がZoomを使えるようになったため、参加してみました。今後のボランティア活動に役立てていきたいと思います。
- ・大変面白い体験をさせていただきました。



事前勉強会



オンライン研修参加の点訳友の会



オンライン研修に参加する職員

整理ボランティアコスモスの会よりご報告

市民の方々からご協力をいただいた使用済み切手を換金し、福祉施設や福祉団体等へ寄付する活動をしています。この度、令和2年度「歳末たすけあい募金」へ30,000円を寄付いたしましたのでご報告いたします。今後も活動を通じて心のふれあいを大切にし、ボランティアの輪を拡げていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

集めています

ボランティアグループや施設で活用されます。ご協力をお願いいたします。

- ウエス用布（不要になったシャツやゆかた、シーツなどの布類）
 - 使用済み切手（切手は封筒からはがさず、できれば消印を残し切り取ってください） ●アクリル毛糸 ●花の苗や種
- ※ボランティアセンター窓口で受け付けています。ご協力をお願いいたします。